2018年12月21日

説明資料：第4回SAJUフォーラムについて

武内進一(東京外国語大学現代アフリカ地域研究センター長)

森尾貴広（筑波大学国際室）

1. フォーラムの概要
2. 開催日：2019年5月23日（木）～24日（金）
3. 開催場所：Future Africa Campus, University of Pretoria
4. 目的：共同研究、学生・教員・研究者交流、学生の共同指導を含む日本と南アフリカの大学・研究者間の学術交流の促進。特に、共同研究をはじめとする具体的な学術交流のマッチングを目指す。
5. 形式：第3回SAJUフォーラムの「学長会議」形式とは異なり、研究発表を中心とした「学術セミナー」形式で行う。**“The human being in the 21st Century in the context of global changes**”を統一テーマに、下記3つのテーマでの研究発表（研究成果・展望・共同研究のアイディア等）を行う。
6. **Health and wellness**想定される分野：medical science, public health, sports, arts, culture, education, transportation, city planning, and area studies.
7. **Security and social justice**想定される分野：food security, water security, agriculture, environment, clean energy, ecology, citizenship, resource management, poverty reduction, area studies, and politics.
8. **Growth, exploration and conservation**　想定される分野：economics, business science, natural sciences, development, heritage, area studies; and politics.

加えて、大学間交流および共同研究支援の枠組み、具体的な交流プログラムに関する情報交換、協議の場として**Technical session**を行う。また、フォーラムの前（21日～22日）にアカデミック・スタディツアー、フォーラム終了後にプレトリア、ジョハネスバーグ周辺でのツアーが企画されている。

1. 実施体制

南アフリカ側

* Universities South Africa (USAf)
* Centre for Japanese Studies (CJS) at the University of Pretoria
* National Research Foundation (NRF)
* 在南アフリカ日本大使館

日本側

* 東京外国語大学現代アフリカ地域研究センター　African Studies Centre (ASC) at the Tokyo University of Foreign Studies (TUFS)（事務局）
* 日本・アフリカ大学連携ネットワーク　Japan-Africa Academic Network (JAAN)（協力）

これに加えて文部科学省、外務省、JSPS、JST、JICA、在日南アフリカ大使館、国立大学協会等が後援、協力として参画することが期待される。

研究発表のプログラム編成に関しては、各テーマに対し日本側2名、南アフリカ側2名の世話人を割当て、3テーマ合わせて日本側6名、南アフリカ側6名の世話人からなる**Academic Committee**を組織して実施する。日本側世話人はこれまで南アフリカとの学術交流およびSAJUフォーラムに関わってきた研究者に依頼の予定（候補者はリストアップ済み）。

南アフリカ側の関係者間でほぼ毎月Planning Meetingを実施している。日本側はTV会議での参加あるいはメールでインプットを行っている。

1. 費用負担

フォーラムの開催費用は南アフリカ側が負担する。日本側として組織的な財政的貢献は想定されていない。参加者は各々の旅費・滞在費を負担する。

1. 進捗状況

サーキュラー（Call for papers）を発出。発表要旨締め切りは2019年1月31日。

以上。